



滝川交通安全情報

令和5年8月29日 第20号

滝川警察署
交通課

高齢歩行者の交通事故防止について

● 高齢歩行者の交通事故の特徴（過去5年の交通事故分析結果～）

- 発生時間帯 ～ 高齢歩行者が怪我をする事故は、**9時～11時**と**16時～18時**の時間帯が多いが、死亡する事故は**17時台、19時台**の発生が多い。

→見通しが悪い時間帯の事故は重大な結果につながりやすい。

- 事故類型 ～ 高齢歩行者が死亡する事故は**横断歩道以外横断中**が最も多い。
- 横断方向 ～ 横断中の高齢歩行者が死亡する事故は、**車両の運転手から見て右から左方向への横断中**が多い。
- 法令違反 ～ 高齢歩行者が死亡する事故では、**歩行者側の5割に法令違反**が認められ、違反種別は**走行車両の直前直後の横断**や**斜め横断**などの横断違反が多い。



● 高齢歩行者の事故防止のポイント

高齢歩行者の皆さん

道路の横断は横断歩道を利用し、斜め横断はやめましょう。
横断途中でも左右の確認をしましょう。
夜間外出時は明るめの服装を心掛け、反射材を身に付けましょう。

ドライバーの皆さん

夜間は早めのライト点灯を行い、ハイビームを活用しましょう。
交差点でのスピードダウンと安全確認、対向車線側からの横断者にも注意しましょう。